

天沼中学校校舎改築基本方針(修正案)

資料 3

< ビジョン >

< 目 標 >

< 取 組 >

【ビジョン1】
時代の変化に対応して、
生徒が学びの充実を実
感できる学校

目標Ⅰ
多様な教育に対応し、学校の
活発な教育活動を支える学
校づくり

目標Ⅱ
地域の公共財として将来にわ
たって使い続けられる柔軟性
のある学校づくり

目標Ⅲ
教職員や支援者が活動しや
すい学校づくり

【ビジョン2】
環境に優しく、安全で快
適に過ごせる学校

目標Ⅳ
自然環境に配慮し、周辺環
境と調和した学校づくり

目標Ⅴ
安全・安心で居心地の良い
生活空間としての学校づくり

【ビジョン3】
地域の活動拠点として、
地域に開かれ、地域とと
もに歩む学校

目標Ⅵ
天沼地域の住民と共に創る
「学びのプラットフォーム」と
しての学校施設の整備

目標Ⅶ
天沼地域の貴重かつ重要な
防災拠点として必要な機能
を備えた施設

取組 A 学年単位から少人数、個人など様々な人数での多様な教育に対応できる学習環境の整備

取組 B 生徒の学習意欲を支える I C T 教育環境や校内情報ネットワーク、ラーニングセンター（図書室）機能の充実

取組 C 学校行事や部活動などが一層活発に行えるよう校庭面積を確保するとともに適切な素材を使用した校庭環境の整備

取組 D 改築工事期間中の教育活動に配慮した計画

取組 E 多目的室等を配置するなど、今後の新たな教育内容や教育方法、将来の学級数の変化に弾力的に対応できる施設

取組 F 長期的な施設利用を想定し、施設の維持管理が容易で、地域ニーズの変化に柔軟に対応し、ユニバーサルデザインに配慮した将来の転用も可能な、魅力を維持・発展できる校舎

取組 G 授業や生徒指導、また授業準備や教材研究など、教職員の働きやすさに配慮した施設計画

取組 H P T A や学校支援本部などによる学校を支える活動に配慮した施設計画

取組 I 環境負荷を低減する設計とエネルギー効率の良い設備の導入により持続可能で自然環境にやさしい施設計画

取組 J 閑静な住宅地である天沼地域の周辺環境と調和した学校

取組 K 現在の校舎の廊下にあるベンチや昇降口にあるサロンなどのような、生徒が安心して友人や教職員等と交流でき、自由にリラックスして過ごせる空間の創造

取組 L 児童生徒が安心して自分なりに過ごせる場、保護者が安心して通わせることができる場としての「さざんかステップアップ教室」の整備

取組 M 不審者の侵入防止等に必要なセキュリティ対策を施し、すべての利用者が安全で快適に過ごせる配置計画

取組 N 生徒や卒業生、地域住民等の学びのニーズに応え、生涯にわたり、学び合い、教え合いがまれ、学びを深めることができる施設計画

取組 O 学校と多くの地域住民がつながり、地域の活動拠点として、多様な交流、体験・学習活動ができる施設計画

取組 P 生徒や教職員が安心して学校教育活動ができるよう、学校開放の利用者の動線を区分けし、適切なセキュリティを確保した施設計画

取組 Q 天沼地域の防災拠点として、緊急車両等の進入経路を確保し、震災救援所等の活動を支える施設

取組 R 天沼地域の防災拠点として、震災救援所の運営に必要な水や電気等のエネルギーが確保できる施設